

# ともえ保育園

令和5年度も子ども達が健やかに成長することができました。これも保護者の皆様や地域の方々の温かいご支援のおかげだと感謝申し上げます。

令和6年度はいよいよ仮園舎での園生活が始まります。在園する子ども達が安心してのびのびと成長できるように全職員で努めると共に、保護者の皆様の不安を少しでも解消できるようお子さんの様子をこまめにお伝えしたり、今後完成していく本園舎の情報を届けていきたいと思ひます。

また、2024年度の展望として保育士の配置基準の見直しをする方針が決められています。保育士一人あたりが対応する子どもの人数を減らすことで、一人ひとりに関われる時間が増えより丁寧に関われると良いと思うと同時に、保育士の心の負担軽減に繋がればと思ひます。園の中では保育士の作業の見直しやノンコンタクトタイムの活用にも努め、保育士等の負担軽減に努めたいと思ひます。また、居心地の良い職場になるよう、人は皆違うことを前提に良い所をお互いに認め合ったり、尊重し合える職場でありたいと思ひます。

ともえ保育園 園長 坂本 智恵



テーマ  
夢と希望

保育目標  
仲良く遊ぶ 元気な子  
「ありがとう」「ごめんなさい」  
「おねがいします」

行動指針  
「インテグリティ」  
Be(在り方) - Do(行動) - Have(結果)  
の一致。  
すべての発想と行動が  
「夢と希望」 にかになっているか。

## ともえ保育園 保育理念

子どもの人権や主体性、個性を尊重し、地域や保護者と力を合わせながら、  
子ども一人ひとりの最善の利益を考え創意工夫を図る。

### テーマ『夢と希望』

～自ら考え、行動し、夢と希望をもって社会に貢献する人を共に育ち合う～

- ♥ 子ども達が安心して過ごし、主体的な活動としての遊びを通して豊かな体験ができる環境を作る
- ♥ 園内、園外で様々な環境(人・物・出来事)に関わる中で、豊かな境を作る人間性、道徳性、たくましく生きる力と知恵を育てる
- ♥ 人の話を良く聞き、自分で考え、何事も本気でする子どもに育てる
- ♥ 「食」に関する様々な体験をし、自然の恵みに感謝しながら“食べること大好き”な子どもに育てる

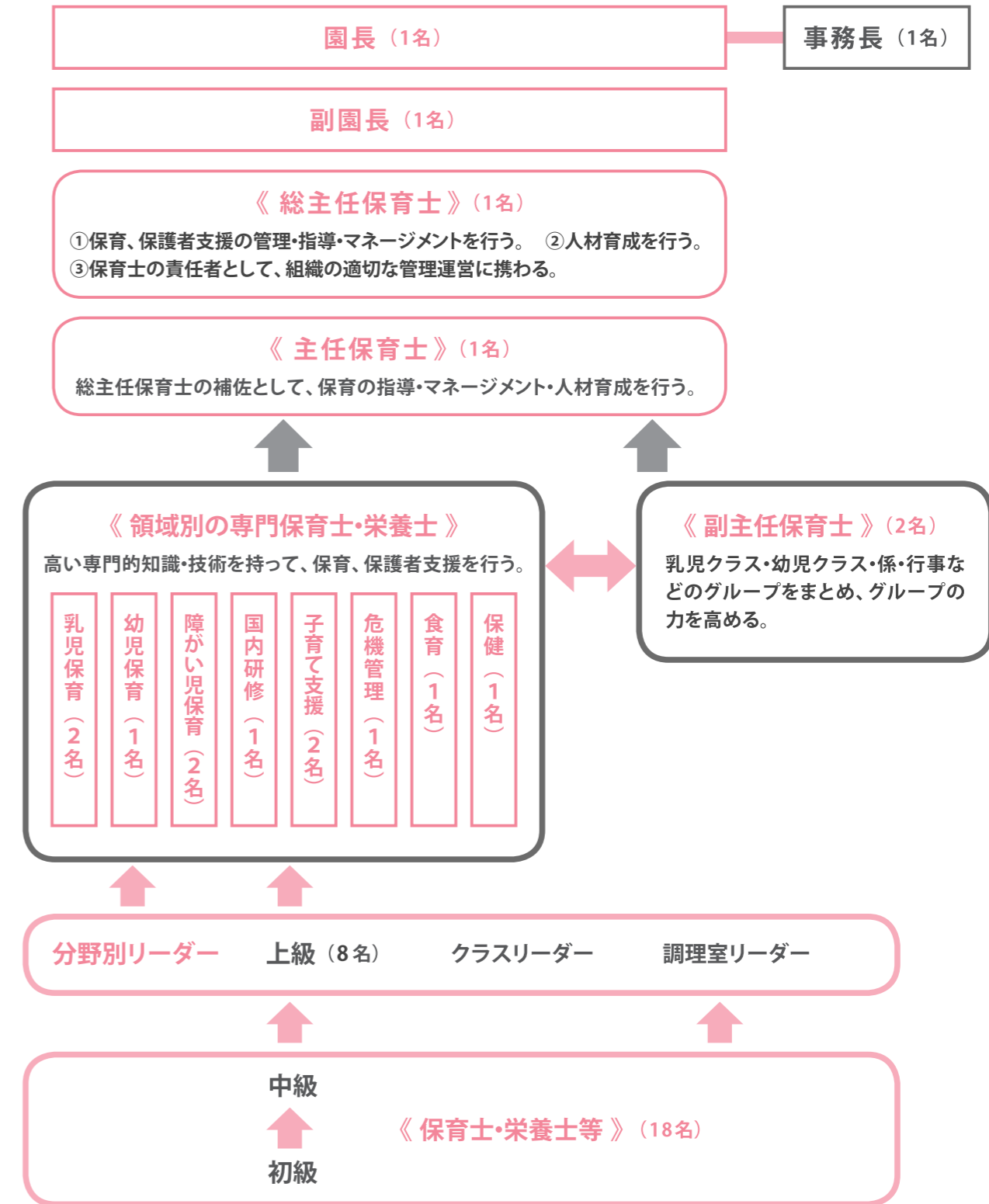
### 保育目標

仲良く 遊ぶ 元気な子  
「ありがとう」「ごめんなさい」「おねがいします」

地域の実態	広島市の中心地に近く、交通量の多い場所に立地しているが、広島城へも徒歩で行ける環境にあり、自然にはとても恵まれている。白島学区は高齢化が進んでいるが、地域の子育てオープンスペースを利用される若い世帯もいる。転勤族も多く、同世代のお子さんを持つ保護者同士が近所で知り合うというよりは、オープンスペースや健康診断で知り合いになることが多い。若い子育て世帯が孤立しないように地域の民生委員さんと連携を図り、支援していくことが課題である。
社会的責任	地域において最も身近な児童福祉施設として、子育て家庭や地域に対し、保育園の役割を果たす。 ● 人権尊重 保育士等は、保育の営みが子どもの人権を守るために法的、制度的に裏付けられている事を認識し、理解する。 ● 説明責任 保護者や地域の方々と交流を図りながら、一方的な「説明」ではなく、応答的な「説明」をする。 ● 個人情報の保護 保育に当たり知り得た子どもや保護者に関する情報は、正当な理由なくもらしてはならない(児童福祉法第18条22)。 ● 苦情処理、解決 苦情解決責任者である施設長の下に苦情解決担当者を決め、第三者委員を自主設置している。苦情に関する検討、内容等は記録し、全職員で共通理解を図り実践に役立てる。

「さあなにやる？」

「やってみたい」  
からはじめよう!



定員数	
3歳未満児	120名
3歳以上児	120名
園児合計	240名

職員数	
正規職員	34名
限定正規職員	5名
非常勤職員	4名
派遣社員	2名
職員合計	43名

(令和5.2.15)

# ともえ保育園の沿革と中・長期計画

令和6年2月

【制度・法律等】

1976年	4月	ともえ保育園開所 定員数……200名	
1986年	4月	増改築 定員数……270名 ◎事務所・ホールができる	☆保育所保育指針 改定 (1990年)
1999年	4月	定員数……200名	☆保育所保育指針 改定 (2000年)
2001年	4月	定員数……220名	
2003年		◎園歌制定 ・お茶会ごっこ、囲碁チャレンジが始まる	
2005年		◎30周年記念式典	
2007年	4月	定員数……240名	
2008年		・咀嚼力向上に取り組み始める。	
2013年			☆安心こども基金を活用した保育士等 処遇改善臨時特例事業
2015年			☆子ども・子育て支援新制度 施行 ☆処遇改善I
2016年		◎お茶室ができる	☆処遇改善II
2018年			☆新保育所保育指針 施行 ☆10月から幼児教育・保育無償化
2020年			☆保育所における 自己評価ガイドライン【改訂版】
2021年			
2022年			☆処遇改善III
2023年			・こども家庭庁発足 (2023年4月)
2024年			◎仮園舎工事 (11月～R6.2月) ◎仮園舎で保育 (R6.4月～R7.1月予定) ◎新園舎工事 (R6.4月～R7.1月予定)
2025年			◎新園舎で保育開始 (R7.2月予定)
2026年			
2027年			

**長期計画 (2018年～2027年)**  
認可保育園の役割を全職員が理解し、機能の強化を図る

**中期計画 (2021年～2023年)**  
☆保育の見直し  
・子どもの主体的な活動を支えるための保育内容、行事、自己評価の見直し  
☆「倫理綱領」の策定、コンプライアンス規程、マニュアルの策定

**中期計画 (2024年～2026年)**  
☆新しい環境の中、子ども達が安全に安心して園生活を送れるようにする。  
☆保育内容の見直し  
・子どもの主体的な活動を支える保育を目指す。  
☆地域の中の児童福祉施設として情報提供をしたり、未就園児の子育て支援の場を充実させる。

## 中期計画 (2024年～2026年)

- ☆新しい環境の中、子ども達が安全に安心して過ごせるようにする。
- ☆保育の全体的な見直し  
♥子どもの主体的な活動を支える保育を目指す。
- ☆地域の中の身近な児童福祉施設として情報提供したり、未就園児の子育て支援の場を充実させる。

2024年 (1年目)

- ◎園舎建替えのため、保育環境が仮園舎、本園舎と移動する。安全計画を立て、園内・園外と子ども達の安全が確保できるように全職員が理解し、取り組む。(園内外の危険箇所、散歩ルート、避難ルートの確認) また、仮園舎での様子や本園舎が出来上がる様子を保護者に発信しながら保護者の不安解消に努める。
- ◎子ども達の「やりたい」気持ちを大切に、保育環境に取り入れていく。
- ◎職員同士が良い所を認め合いながら、心地よい職場作りをしていく。

2025年 (2年目)

・行事の細かい内容については主任・副主任・係を中心に変更し、実践していく。(子ども達が自分で考え、決めて行動できるものへ)  
・ウェブ方式の週案を使いながら、その日の保育をクラスで振り返り、語り合いながら明日の保育環境、活動に取り入れていく。

倫理綱領の策定、コンプライアンス規程、マニュアルの策定

- ◎保護者にも保育内容や子どもの成長を伝えていく。(園だより・クラスだより・ドキュメンテーション)
- ◎園内研修で教材研究をする。
- ◎日々の保育、環境についてのカンファレンスを計画的に取り組む。
- ◎子どもの主体的な活動を支えるための保育内容の見直しを日々行う。(行事・記録の取り方・自己評価)

子ども達が興味を持ったことに、集中してあそび込む。遊びや生活の中で、考え、決定し積極的に生活していく。保育士は子どもを見守り、楽しんで保育をする。

## 長期計画 (2018年～2027年)

- ☆認可保育園の役割を全職員で理解し、機能の強化を図る  
♥乳児保育、幼児教育の質の向上を図る。  
♥子育て家庭、地域社会への役割を理解し、はたす。

- ◎育児相談、園庭開放、小・中・高生などの体験学習の受入  
⇒人数制限を設けながら、積極的に実施してきた。
- ◎保育の質の向上に向けて外部研修に参加(キャリアアップ、人権、虐待、危機管理、保健、食育、保育実践)  
⇒リモート研修を利用しながら、できるだけ多くの職員が参加できるように工夫してきた。
- ◎明日の保育に繋がる自己評価や子ども主体の保育についての研修(往還型)に複数で参加し、アウトプットしながら、実践を積んでいく。  
⇒他園の方と情報交換をし、刺激を受けながら自分の保育に取り入れる姿が見られた。
- ◎公開保育の実施、他園の公開保育に参加
- ◎カンファレンスの実施、参加(園内、他園、専門家に依頼)
- ◎職員参加型で、行事や記録、自己評価の見直しをする。(職員会議、係などの小グループで見直し、検討する)



たのしもう!やってみよう!

「みてみて できたよ すごいでしょ」

	0歳児(ひよこ)	1歳児低月齢(たんぼぼ)	1歳児高月齢(ひまわり)	2歳児(ちゅうりっぷ・こすもす)
4月	<p><b>&lt;みてみて&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>安心できる環境の中で、保育士に見守られながら心地良く過ごす。</li> <li>仕草や喃語を受け止めてもらい、友だちや保育士とのやりとりを楽しむ。</li> <li>思いを受け止めてもらい、保育士との信頼関係のもと好きな遊びを存分に楽しむ。</li> </ul> <p><b>&lt;できたよ&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>手づかみやスプーンを使って、喜んで食事をしようとする。</li> <li>1人ひとりの発達、興味に応じて、身体を動かしたり探索活動を楽しんだりする。</li> <li>保育士に手伝ってもらいながら、自分でできた喜びを味わう。</li> </ul> <p><b>&lt;すごいでしょ&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指先を使って楽しんで遊ぶ(シール貼り・なぐり描き・ホース落としなど)</li> <li>リズムや歌に興味を持ち、手足や身体を動かしたり音を楽しんだりする。</li> <li>自然に触れながら、遊んだり発見を楽しんだりする。</li> </ul>	<p><b>&lt;食べるの大好き&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>楽しい雰囲気の中で、安心して食事をしようとする。</li> <li>いろいろな食材に興味を持ち、手づかみやスプーンを使って自分で食べてみようとする。</li> </ul> <p><b>&lt;先生 お友だち大好き&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>しぐさや喃語、簡単な言葉をうけとめてもらい、保育士や友だちとのやりとりを楽しむ。</li> <li>友だちや保育士と関わりながら、一緒に様々な遊びを楽しむ。</li> </ul> <p><b>&lt;やってみよう!!&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりの発達に応じて、のびのびと体を動かしたり、探索活動を楽しんだりする。</li> <li>リズムや歌に興味を持ち、体を動かすことを楽しむ。</li> <li>指先を使って遊ぶことを楽しむ。</li> <li>全身を使って遊ぶことを楽しむ。</li> <li>様々な素材に興味を持ち、触れたり持ったりして楽しむ。</li> <li>自然に興味を持ち、見たり触れたりして楽しむ。</li> <li>保育士に手伝ってもらいながら、身の回りのことなど、自分でできた喜びを味わう。</li> </ul>	楽しいこと みつけた	春の自然に触れながら、虫や草花に興味を持つとする。
5月			先生 お友だち一緒に遊ぼう	砂・土・水・泥などに触れながら遊びを楽しむ。
6月			外は不思議がいっぱいだ(戸外遊び)	雨の降る様子を見たり、水たまりの中に入ったりして遊んでみようとする。
7月			夏の遊びを楽しもう!(感触あそび)	夏のアソビに興味を持ち楽しむ。
8月			食べ物ってなあに?(食育)	夏野菜が大きくなる様子を見たり、触れたりしてみようとする。
9月			身体を動かしてあそぼう!(運動あそび)	走る・跳ぶ・跳び下りる・よじ登るなど様々な動きを楽しむ。
10月			ちいさい秋 みつけた(戸外活動・自然に触れる)	秋の自然に触れ、落ち葉や木の実を拾ったり、それを使って遊んだりする中で、それぞれの葉の色や形の違いに気付こうとする。
11月			秋の自然に触れよう!(造形あそび)	絵本に興味を持ち、登場人物になりきって遊びを楽しむ。
12月			踊ろう!歌おう!奏でよう!(リズムあそび)	友だちや保育士と簡単なやりとりをしながら、ごっこ遊びを楽しむ。
1月			冬っていいな(伝承あそび)	氷や雪に触れて遊ぼうとする。
2月			一緒に楽しいね(対人関係・ごっこ遊び)	指先を使った遊びを楽しむ。
3月			みてみて!自分でなんでもできるよ。(身の回りのこと)	進級に向けて、身の回りのことを自分でやってみようとする。

反省点

0歳児(ひよこ)

- 初めてできた事(寝返り・お座り・這い這い・つかまり立ち・歩くなど)を担当で喜び合うことが出来た。
- 身体を動かしたり、手指を動かしたりできる環境を、個々の成長を見ながら整える事ができた。
- 一人ひとりと丁寧に関わり愛着関係を築きながら、子どもの気持ちを受け止め応答的な関わりをする事ができた。
- シール貼り・なぐり書き・えのぐあそびなど苦手な子も無理なく経験していく中で、自分からやってみようという姿が見られるようになった。その時の「みてみて」「できたよ」「すごいでしょ」をしっかり受け止めるようにした。

1歳児低月齢(たんぼぼ)

- 子どもが自由に玩具を出して遊べる環境にしていたので、自主的に色々チャレンジしていた。その積み重ねがあったからか、子どもが自分で遊びを工夫したり、考えたりする姿が見られるようになったと思うので良かった。
- テーマの中で身の回り(特に食事)について書いていたが、保護者がやってあげる子が多いのか、受け身で食べさせてもらおうとする子も多かったため、難しい部分もあった。

1歳児高月齢(ひまわり1)

子どもたちの遊んでいる姿や夢中になっている絵本などから、こんなものがあつたらもっと遊びが広がるのではないかな、こんなものがあつたら子どもたち同士仲良く遊べるのではないかなを常に考えながら過ごさせていけたのではないかなと思う。(抱っこひもを作ったり、順番に並ぶように足のマークを置いたりなど)しかしアイデアは浮かんでも実際に行動できず、玩具もあるものになったり、製作もあまりできていなかったり、子どもたちがケガをしないようにと思うあまり、ダイナミックな遊びができていなかったというのが反省すべきところであった。

1歳児高月齢(ひまわり2)

- 食事、衣服の着脱等、子どもたちの「みてみて!」に対し、一人ひとりじっくり見守り一対一で喜びを共感することで、次への自信につながり、子どもの主体性を育むことができた。
- 子どもの興味のあること(おかいもの・ごっこあそび等)に対しその日のうちに、担任同士で話し合い廃材を用意したり環境を整えたりして、遊びを広げることができた。しかしなかなかうまく広げられないこともあり、いつも同じような内容の遊びになってしまう事もあったのでそこは反省。
- 子どもたち1人ひとりの「できた」を大切にす為、製作や遊び等で興味がなかったり、嫌がったりする子へは無理強いせず、自然とやりたいと思えるような雰囲気つくりや製作技法等を工夫した。

1歳児高月齢(ひまわり3)

- 「たのしもう、やってみよう」というテーマだったので、やりたい子だけでやったり、最初はしぶっていたけど、友だちの影響を受けてやってみようとしたりと強制することなくすることができた。
- 遊び、製作や生活の中で繰り返すことで、1回目はやりたくないといっていた子も、次やる時に興味を持った時は楽しめるようになり、取り組む姿が見られるようになった。

2歳児(ちゅうりっぷ・こすもす)

- ままごとで楽しんでいる子どもの姿を見て、ままごとコーナーを充実させたいと思い、ままごとコーナーを作った。さらに、お金や手作りの食べ物を用意することで遊びが広がった。
- 2月に「指先を使った遊びを楽しむ」というねらいを入れていたが、早い時期からボタンはめ・ひも通しなど指先を使った遊びを取り入れることで、はさみを扱うことも上手になった。また制服を着る練習では、ボタンをはめることもスムーズにできていた。遊びの中で楽しみながらすることができた。
- 散歩にでかけると落ち葉拾いを楽しそうにしていたのを見て、持ち帰り用のマイバックがあると良いなと思い、ポシェット作りをした。ポシェットを作ると、みんなここにどんぐりを入れたい、葉っぱを入れたいと言って散歩することをとても楽しみにしていた。散歩当日は沢山の落ち葉を拾い集めることができ、みんなの目が輝いていた。いつもは少ししか持って帰れないが、ポシェットがあることで沢山持ち帰る事ができ喜んでいた。持ち帰った落ち葉でリース作りをしたり、どんぐりを使ってマラカスを作ったりし、その後もしっかり楽しむことができたので良かった。

# 令和5年度保育テーマの振り返り

3歳児～5歳児

## たのしもう! やってみよう!

「みてみて できたよ すごいでしょ」

	3歳児(年少)	4歳児(年中)	5歳児(年長)
4月	楽しいことをたくさん見つけて、新しい環境に慣れよう。	新しい環境に慣れ、身の回りのことを自分でやってみよう。	年長児として進級した喜びを感じながら、身の回りの事や新しい活動に意欲的に取り組んでみよう!
5月	水や砂・泥等に触れ、感触を楽しもう。	春の自然の心地よさをからだで感じ、自然物をあそびの中に取り入れて楽しもう。	水の使い方を考えながら、泥んこあそびや水あそびをダイナミックに楽しもう!
6月	栽培活動を通して、植物や野菜が生長する姿を感じたり、楽しみにしたりしよう。	水・砂・泥などに触れ遊ぶ中で、不思議・発見を見つけよう。	いろいろな素材や材料を使い、自由な発想で製作遊びを楽しもう!
7月	着替えや脱いだ服の片づけ方を知り、自分でやってみよう!	異年齢の友だちと関わりながら、いろんな遊びを楽しもう。	クラスや異年齢での関わりを通して、助け合ったり、互いを思いやったりしながら、人に認められる喜びを感じてみよう!
8月	好きな遊びを見つけ、繰り返し遊ぶ中でまたしようしたり、次を楽しみにしたりしよう。	夏の自然に触れながら、発見の楽しさを友だちと共有し、命の大切さを考えてみよう。	友だちと協力したり、励まし合ったりしながら、運動遊びを楽しもう。
9月	体を動かすことを楽しもう。	いろいろな遊具や用具を使い、様々な身体の動きを楽しみ、目標に向かって挑戦してみよう。	友だちと相談したり、協力したりしながら、共通の目的に向かって活動し、みんなで達成感を味わおう!
10月	お当番活動をはりきってやってみよう。	友だちとの繋がりを深め、イメージしたことを描いたり作ったりして、いろいろな方法で表現することを楽しもう。	道具を正しく使ったり、材料を適正な量で使用したりしながら、製作遊びを楽しもう!
11月	自分なりにイメージをもち、保育士や友だちと言葉遊びや表現遊びを楽しもう。	さまざまな楽器に触れ、音を鳴らしたり、リズム打ちをしたりして、みんなで簡単な合奏をしてみよう。	いろいろな楽器を使い、リズムや音を組み合わせ合わせて合奏する楽しさを味わおう!
12月	伝統行事や季節の行事を楽しもう。	友だちや保育士と一緒にイメージを広げながら、なりきって表現することを楽しもう。	絵本や物語の世界に親しみ、自分なりに表現してみよう!
1月	冬の自然の不思議さや面白さを感じてみよう。	伝統行事や冬の自然事象に興味、関心をもち、感動したり不思議さを感じ、疑問をもって調べたりしてみよう。	自然事象の不思議や疑問をみんなで考え、楽しんだり、興味関心を深めたりしよう!
2月	様々な道具や素材を使って、自分なりに工夫をして製作してみよう。	遊びのルールを守り、友だちと工夫してあそびを広げ、友だちとのかわりを深めよう。	生活の中にある文字や数に興味をもち、活動や遊びに取り入れれたり、見通しをもった行動をしたりしてみよう!
3月	進級を心待ちにしながら、自分でできることを前向きにやってみよう。	生活や遊びの決まりを守り、生活習慣や態度を身につけ、進級への意欲を持って過ごそう。	就学に向け、自身を持って行動したり、期待したりしながら過ごしてみよう!

## 反省点

### 3歳児(年少すみれ)

- 進級して不安を抱えながらも楽しいことを見つけながら、新しい環境に慣れていくことができた。
- 服や靴の汚れを気にすることなく、思う存分水や砂、泥あそびを楽しむことができた。
- さつま芋の苗や土に触れ、生長に期待を持つことができた。また収穫の際は実際に芋ほりを体験し、さつま芋になっていること、食べる喜びが味わえた。
- 身体測定や泥んこの着替えを通して、着替え方や脱いだ服のたたみ方を知る事ができた。
- 好きな遊びを繰り返す中で「もっとやりたい」「○○ちゃんみたいにやりたい」という気持ちが芽生え、日をかけて完成させたり、友達と協力してやったりするなど、複雑に遊べるようになった。
- お当番活動の始めの頃は、挨拶や配膳など不安そうだったが、回数を重ねるうちに、自分の番が楽しみに待てるようになった。
- 発表会の練習や本番を通して、踊ったりセリフを言ったり、歌ったりする楽しさが味わえた。
- 伝統行事や季節の行事では、当日までが期待で一杯になるように導くことができた。
- 冬の自然など実体験や絵本などから、触れたり見たりして不思議さや面白さが感じられた。
- はさみやのりなどの道具を使い、廃材などの様々な素材で、製作や工作が楽しめた。
- 主体的に遊んだり、生活したりできるよう、また「楽しむ」ことを心掛けながら進めることができた。

### 3歳児(年少もも)

- 子どもたちの「やってみよう」という思いを大切にしながら、やってみようことをできる環境づくりを心がけた。すぐにはできないこともあったが、できる限り子どもたちの興味、関心を大切にしていけたと思う。
- 4月から水遊びや泥んこあそびを取り入れていたので、十分楽しむことができたと思う。
- 生活発表会では、粘土できび団子を作ったり、ハチマキを作って、桃太郎になりきったりして、春頃から楽しむことができたが、ごっこあそびなどももう少し発展させていけたら良かった。

### 4歳児(年中)

- 身の回りのことは年少からの習慣でスムーズに行えた。難しい子には、重点的に声をかけたり視覚教材を使ったりした。
- いろいろな春のものなどを探しにいったが、そのあとの繋がり、保育士の環境づくりがあまりできなかった。
- 水・砂・泥などに触れながら、遊びの中で発展、工夫する姿が増えた。(そうめん流しのようなものをどう組み合わせたら水が流れるか、色水でこの色とこの色を混ぜるとどうなる、大きいシャボン玉はどう作るかなど)
- 異年齢交流ははじめの頃はあまり見られなかったが、続いていくと年長児の真似をしたり、年少児と遊んだりする姿が見られた。
- 命の大切さをしっかり伝えていくことができておらず、虫を捕まえて終わりのことが多くあった。
- 運動会に向けて諦めることなく最後まで取り組み、できた達成感を感じることができた。
- 友達や保育士とイメージを広げながら印象画を描いたり、廃材あそびをする中で工夫をすることが増えた。
- 様々な楽器に触れ、音を鳴らすことを楽しめた。
- 友達とイメージを広げながら、表現することを楽しめた。
- 冬の事象は、温かいこともあり、氷がなかなかできなかったが、なぜできないのか、どうやったらできるのかなど考えることができた。また調べられる環境を整えることができれば良かった。
- 遊びに慣れてきてルールが乱れていることもあるが、友達との関わりが深くなっている。(トミカとレゴ→街づくり、車を走らせるなど)

### 5歳児(年長)

- 見つけよう!考えよう!では、数々の行事の度に、みんなで話し合い、考えることを通じて新たな発見につながり、色々な行事を子どもたちと共に楽しむことができた。
- 菜園では、初めて苗からではなく、種から育てることになり、少しずつ生長する様子をみんなで観察したり、収穫までたどり着いたときに実際に食べることもできて、十分に楽しむことができた。
- 自由に描く、作る製作が苦手な子が多かったが、「やってみよう」という声掛けを続けたことにより、子どもたち自身が「まずはやってみよう」という意志が持てるようになってきた。

## 令和5年度の振り返り

令和6年度は各クラスで子ども達の「やってみよう」という気持ちを大切に保育に取り組んできた。その日の子ども達の姿からどうすれば子ども達が楽しみながら育ちに必要な経験ができるかをクラスで話し合い、翌日の保育に繋げてきた。また、3歳以上児では、自分の気持ちを皆の前で伝えたり、友達と話し合っ物事を決めていくことが上手になってきた。簡単にジャンケンや多数決で決めようとするのではなく、「何でそう思うの?」と友達の思いを聞きながら決めていく姿には成長を感じた。小さい時から周りの大人や友達に自分の気持ちを聞いてもらえる体験や自分を認めてもらう体験を繰り返すことが大切だと改めて感じた。令和6年度も、子ども達の主体性を支えながら保育士自身も子ども達の成長を楽しみにワクワクしながら保育をしてほしいと思う。

# 令和6年度保育の全体的な計画



幼児期の  
終わりまでに  
育てほしい姿

「健康」  
・健康な心と体

「人間関係」  
・自立心  
・協同性・道徳性、  
規範意識の芽生え  
・社会生活との関わり

「言葉」  
・言葉による伝え合い

「環境」  
・自然との関わり  
生命尊重  
・思考力の芽生え  
・数量や図形、文字  
などへの関心、感覚

「表現」  
・豊かな感性と表現

食育の5項目  
・食と健康  
・食と人間関係  
・食と文化  
・いのちの育ちと食  
・料理と食

発達過程		<ul style="list-style-type: none"> <li>●首が座る ●座る、這う、立つ ●寝返り ●つたい歩き ●腹ばい ●手を使う</li> <li>●歩行の開始 ●言葉の獲得</li> <li>●食事・衣服の着脱、排泄を自分でしようとする</li> <li>●基本的な生活習慣の発達 ●話言葉の基礎の形成 ●知的興味、関心の高まり</li> <li>●自意識の高まり ●全身のバランス、体の動きが巧みになる</li> <li>●基本的な生活習慣の確立 ●判断力、認識力の高まりと自主性、自立性の形成</li> <li>●滑らかで巧みな全身運動 ●思考力、認識力の高まりと自然、社会事象への興味関心</li> </ul>								
年齢		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳		
年齢別保育目標		「見ててね、先生大好き」	「いやいや」「～したいな」	「一人のできるもん」		「なんで?」「どうして?」	「いれて!」「いいよ!」	自分と友達「決まりと我慢」	仲間と自立	
年齢別保育目標		愛情豊かに応答的に一人一人に関わり、生活リズムを整える中で安心して過ごせるようにする	安心できる保育士に温かく見守られながら、自分でしようとする気持ちが芽生える	自分でやってみようとする気持ちを保育士に見守られながら、できた喜びを感じる		保育士や友だちと遊ぶ中で自分のしたい事、言いたい事を言葉や行動で表現する	保育士や友だちと一緒に遊びながらつながりを広げ、集団としての行動ができる	一つの目的に向かって友だちと助け合ったり葛藤したりする中で、達成感や充実感を味わう	就学以降の生活や学習の基盤の育成に繋がるよう、生活や遊びを通して創造的な思考や生活態度を身につける	
養護	生命の保持	一人ひとりの生活リズムを重視し生理的欲求を満たし、安心して生活できるようにする	特定の保育士との信頼関係が更に深まり、愛着関係が育まれるように接する	生活や遊びの中で、自我が育つような関りをもつ		基本的な生活習慣を身につけられるように援助する	運動量が増し活発に活動できるように配慮する。自ら体調の変化に気づけるように見守る。	健康に関心を持ち、生活に必要な習慣が身につけられるようにする	環境保健に十分に留意し、快適に生活できるようにする	
	情緒の安定	一人ひとりの甘えなどの依存欲求を満たし、応答的な触れ合いの中で愛着関係を育む	スキンシップにより、保育士との応答的な関わり心地よさや安心感を得るようにする	子どもの気持ちを受容し共感しながら継続的な信頼関係を築いていく		主体的な活動を促す環境を構成し探索意欲が高められるように見守る	自己を十分に発揮して、活動することを通して、やり遂げる喜びや自信、肯定感が持てるようにする	生活リズムに応じた活動内容の調和を図り、休息が取れるようにする	信頼関係の下、自分の気持ちや考えを安心して表現できる環境をつくる	
教育	健康	(健やかに伸び伸びと育つ) 保健的で安全な環境の中で、清潔になる事の心地良さを覚える。個々の状態にあった遊びを楽しむ	身の回りの事を援助されながら自分でしようとする気持ちが芽生える。自由に体を動かすことを楽しむ	生活の中で援助してもらいながら、自分でしようとする。全身を使う遊びや手先を使う遊びを楽しむ		身の回りを清潔にし、生活に必要な活動を自分でしようとする。戸外で体を十分に動かしたり、遊具や用具を使った遊びを楽しむ	自分の体に関心を持ち、異常を感じたら自分から保育士に知らせる。自ら外で体を十分に動かして遊ぶ	室内外の危険な物や場所、危険な行動を知り、気をつけて活動する(自分の身は自分で守る)。見通しをもって行動する	清潔と病気の予防の関係を知り、体や衣服などを清潔にする。様々な運動器具を使い、友達と工夫しながら遊びを発展させて遊ぶ	
	人間関係	(身近な人と気持ちを通じ合う) 特定の大人との応答的な関わりの中で、愛着関係が生まれる。	安心できる保育士の見守りの中で、身の回りの大人や子どもに関心を持ち、関わろうとする	生活や遊びの中で順番を守ろうとする。保育士の仲立ちのもと、友だちと関わって遊ぶことを楽しむ		簡単なルールのある遊びをする中で、ルールを守りながら楽しく遊ぶ	共同で使う物の貸し借りをしながら楽しく遊んだり、物を大切にしたり、折り合いをつけたりする	遊びや行事を通して、力を合わせる大切さを知り、思いやる気持ちを持つ	良いこと悪いことがわかり判断できる。ルールを決めたり、遊びを考えたり工夫しながら遊びを展開していく	
	言葉	喃語や片言を受け止めてもらい、発語や保育士とのやりとりを楽しむ	語りかけにより、発語が促され、言葉を発することを覚える。応答的な関わりの中で、身近な人と気持ちを通わせる	保育士を仲立ちとして、生活や遊びの中で言葉のやり取りを楽しむ。言葉を通してごっこ遊びを楽しむ		気になったことについて「なんで」「どうして」ときいたり、思ったことを言葉で伝えようとする	友だちとの会話を楽しむ。友だちにわかるように自分の気持ちを伝えたり、相手の話を聞いたりする	様々な機会や場で活発に話したり、保育士や友だちの話を傾ける。日常の挨拶を交わし親しみを持つ	人の話を聞いたり、身近にある文字に触れたりしながら言葉への興味や感覚を豊かにする	
	環境	(身近なものとの関わり感性が育つ) 安心できる人的・物的環境の中、いろいろな経験を通して感覚の働きを豊かにする	好きな玩具や遊具・自然物に興味を持って関わり、様々な遊びを楽しむ	自然物と触れ合う中で、好奇心と探求心が生まれてくる。行事に参加して興味をもつ		身近な動植物に親しみをもち、世話をする中で、命の尊さに気づく	身近な物に興味を持ち、試したり工夫したりして遊ぶ。自然など身近な環境に親しむ	生活や遊びの中で文字、数字、標識、量、形などに関心を持つ	生活の中で、国や地域社会における様々な文化や伝統に親しむ。就学に向け、意欲的に生活する	
	表現	保育士のすることに興味を持ち、リズムを感じながら模倣することを覚える	友だちと一緒に歌ったり、手遊びをしたり、体を動かしたり感性豊かに自分なりに表現しようとする	人や動物などの模倣をしたり、友だちと一緒に歌ったり、リズムに合わせて体を動かして遊ぶ		色々な素材や用具に親しみ、友だちと工夫して遊ぶ。共通のイメージを持って、ごっこ遊びを楽しむ	絵本や紙芝居を見て、面白さがわかり、想像したり、表現したりすることを覚える	想像したものを動きや言葉で表現したり、話や出来事を演じたりする	様々な材料や用具を適切に使いながら、イメージしたものを表現する美しさなどに気づき、豊かな感性をもつ	
育	食を営む力の基礎	安定した人間関係の中で、乳(母乳・ミルク)を飲み心地よい生活を送ったり、自ら進んで食べようとする	様々な食べ物を見る、触る、噛んで味わう経験を通して自ら食べようとする	様々な種類の食べ物や材料を味わい、食べる喜びや楽しさを感じ意欲的に食べようとする		食材に興味を持ち、様々な食べ物を食べて食べながら、マナー(食と文化)を身につける	友だちと一緒に食事することを覚える	体と食べ物に関心を持ち食べた物が健康に繋がることを知る	食べ物大切さ、命への感謝の気持ちを持つ	
健康支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>●健康、発育、発達状態の把握 ●心身状態や家庭生活、養育状態の把握</li> <li>●年間保健計画 ●内科、歯科検診</li> </ul>								
環境・衛生管理		<ul style="list-style-type: none"> <li>●施設内外の設備、用具等の清掃及び消毒 ●ぎょう虫検査</li> <li>●安全管理及び自主点検</li> </ul>								
安全対策 事故防止		<ul style="list-style-type: none"> <li>●避難訓練(火災、地震、水害、不審者対応、SIDS、行方不明)</li> <li>●救命講習会(AEDを含む) ●消防点検 ●室内外の点検</li> </ul>								
保護者・地域への支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>●育児相談 ●子育て情報誌の配布 ●園庭開放、わかばパパ・ママ応援教室実施</li> <li>●実習生、職場体験、保育体験、ボランティアの受け入れ</li> </ul>								
健康支援						研修計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>●園外研修への計画的参加 ●園内研修(人権、虐待、危機管理、保育実践、カンファレンス)</li> <li>●公開保育(園内・他園)《園内だけでなく、違う視点を持った他園の先生、専門家などにも依頼し語り合う中で保育の質の向上を図る》</li> <li>●キャリアアップ研修への参加 ●幼稚園免許の更新</li> </ul>			
環境・衛生管理						特色ある保育	<ul style="list-style-type: none"> <li>●お茶会ごっこ ●囲碁チャレンジ ●体操教室 ●地域の方との菜園活動</li> <li>●身体に良い食事の提供 ●異文化の食事 ●噛む力を育む(グループ共通テーマ)</li> </ul>			
安全対策 事故防止						小学校との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>●保育所児童保育要録の小学校への送付</li> <li>●幼保小連絡会 ●小学校との交流会</li> </ul>			
保護者・地域への支援						自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>●年1回 マニュアルの見直し ●日々の保育の振り返り</li> <li>●年を前期・後期に分けての自己評価(個人用・園用)</li> </ul>			

と社会福祉法人  
ともえ福祉会より

ともえ保育園

ともえの家

ともえ保育園 3カ年運営実績

ともえ保育園 月初園児数推移表

(単位：人)

令和3年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0歳	8	14	14	16	16	22	24	24	24	24	24	24	234
1・2歳	89	96	95	94	94	95	95	95	95	96	95	96	1,135
3歳	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	528
4・5歳	81	83	83	83	83	83	83	83	81	81	81	81	986
計	222	237	236	237	237	244	246	246	244	245	244	245	2,883

令和4年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0歳	13	13	15	16	18	20	24	24	24	23	24	24	238
1・2歳	87	87	89	89	90	92	92	93	94	95	95	93	1,096
3歳	44	43	43	43	43	43	43	43	43	43	43	43	517
4・5歳	87	87	87	87	87	87	87	87	87	87	87	87	1,044
計	231	230	234	235	238	242	246	247	248	248	249	247	2,895

令和5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0歳	11	12	12	15	17	17	20	22	24	24	24	24	222
1・2歳	87	87	89	89	89	92	94	94	93	94	93	93	1,094
3歳	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	492
4・5歳	86	87	87	87	87	87	87	87	87	87	87	87	1,043
計	225	227	229	232	234	237	242	244	245	246	245	245	2,851

ともえ保育園 職員数推移表

(常勤換算：少数第2位四者五入)  
(産休・育休・派遣社員は除く)

令和3年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
園長	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
副園長	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
保育士	31.8	31.8	31.7	30.6	30.6	30.6	30.6	30.6	30.6	29.6	28.6	28.6	365.7
調理員	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	43.2
事務員	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
計	38.4	38.4	38.3	37.2	37.2	37.2	37.2	37.2	37.2	36.2	35.2	35.2	444.9

令和4年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
園長	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
副園長	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
保育士	30.3	30.3	30.3	29.3	29.3	29.3	29.3	29.3	29.3	29.3	29.3	29.3	354.6
調理員	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	43.2
事務員	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
計	36.9	36.9	36.9	35.9	35.9	35.9	35.9	35.9	35.9	35.9	35.9	35.9	433.8

令和5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
園長	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
副園長	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
保育士	30.3	30.3	30.3	30.3	31.3	31.3	32.3	31.3	31.3	31.3	31.3	31.3	372.6
調理員	3.6	3.6	3.6	3.6	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	51.4
事務員	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
計	36.9	36.9	36.9	36.9	38.7	38.7	39.7	38.7	38.7	38.7	38.7	38.7	460.0

ともえ保育園 収支実績報告書(3カ年分)

(単位：千円)

勘定科目	令和3年度	令和4年度	令和5年度(見込)
事業活動の部			
収入	280,920	290,688	314,658
支出	267,898	275,250	291,808
サービス活動収益計	13,022	15,438	22,850
事業活動外の部			
収入	3,124	5,003	3,389
支出	1,876	1,912	3,046
サービス活動収益計	1,248	3,091	343
経常増減差額	14,270	18,529	23,193
特別増減の部			
収入	0	0	0
支出	1,000	800	800
サービス活動収益計	(1,000)	(800)	(800)
経常増減差額	13,270	17,729	22,393

